

令和6年度 第1回学校関係者評価委員会記録

日 時：2024年6月28日（金） 10:00～11:20

場 所：加世田高校 会議室

出席者：外部評価委員5人，本校委員7人（校長，教頭，事務長，4部主任）

会順等：1 開会

2 校長挨拶

3 委員紹介

4 学校関係者評価委員会設置要綱

5 本校の概況について

学校経営方針，ランドデザイン，いじめ防止基本方針等について説明

4部の年間計画・方針等について各主任より説明

6 令和6年度学校評価について

7 質疑応答

8 閉会

〔委員からの質問・意見等の概要〕（○は評価委員から，●は本校委員から）

○朝補講の完全希望制について，以前は高校生が時間に追われて慌ただしく登校していた印象があるが，現在落ち着いて見える。

○教員の働き方改革に対して，高い進学実績を求められる。一見相反する要求に対して何か対応していることはあるか。

●朝補講の受講率は3，4割程度であるが，希望制によって，受講している生徒の自主性・やる気は強くなった。教員側も講座内容を工夫し質の高い授業を行うことを心掛けている。また，現3年生は「全員受講」の頃を経験しており，全学年が「希望制のみ経験」となるまでは過渡期と考えている。

○毎年小学校の窓拭き作業をしてもらっている。主に1年生の教室をってもらっているが，作業時には1年生は下校している。何か交流するものができればいいが。

○中学生はイメージ先行。加世田高校ブランドの再構築をしてもらいたい。「加世田高校と言えば・・・」と言えるようなものを。

○文化祭を見させてもらった。ぜひ中学生にも見せてあげたい内容であった。また，生徒が自ら動いて仕事をしており，生徒を信頼し任せられる教員がいるということが素晴らしいと感じた。

○文化祭が第2土曜だったのが残念。

○小中学生が来やすい雰囲気作りをお願いしたい。

○「情報」の取組み及び手応えはどのように考えているか。

- 3年次に「情報」を授業に取り入れている高校は少ない。実力考査や対外模試で「情報」に取り組ませているが、結果を見れば、3年次の授業がある・なしは関係ないように思われる。それよりも「読解力」が大事なように思われる。
- 看板やパンフレット，説明会等のPR活動について，中学生は大学名を言っても分からない。その大学へ行った生徒がどのような就職をして，どのような活躍をしているかが見えるようなPR活動をお願いしたい。
- 他県では学生の薬物乱用が問題となっている。本県でも身近に迫りつつある問題と捉え，講演会などを企画してみてもどうか。